

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



3

2014
No.305

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

日本海トド漁業被害対策緊急集会を開催
平成25年度 全道漁協青年部大交流会



枝幸漁協女性部が ぎょれん鹿島食品センターを視察



工場内で説明を受けながら視察する枝幸漁協女性部の皆さん

1 月21日(火)から1月24日(金)までの4日間、枝幸漁協女性部(代表…天野奈美子部長)の部員35名が消費地視察を行いました。

1月22日(水)には、茨城県神栖市にあるぎょれんのグループ会社「株式会社ぎょれん鹿島食品センター」を訪問しました。女性部の皆さんは工場内で、ほたて製品のパック詰めやクリーンルームでのいくら製品のパック詰め、トンネルフリーザー、秋鮭切身製造ライン等を見学。道産水産物を切り身や小パックなどに加工し、首都圏等の生協・量販店などにタイムリーに届けるといふ工場が担っている「ぎょれんの消費地型流通加工機能」について説明を受けました。その後、工場内の会議室に移動して、ぎょれん鹿島センターの概要や地元枝幸の前浜で水揚げされた秋鮭やほたてを原料に製造した、「ほたて玉冷」、「いくら醤油漬」、「井セツト」等の加工製品についても紹介されました。

天野女性部長は「今回、地元で水揚げされた魚が工場でのどのように加工され、消費者や生協の組合員のもとへ届けられているのかがよくわかりました。これからも安全で安心な製品を作っていくって下さい。」と述べ、今回の視察が女性部の皆さんにとって有意義な研修になったと話して下さいました。



鹿島食品センターの前で記念写真を撮影しました

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
March 2014 No.305

3

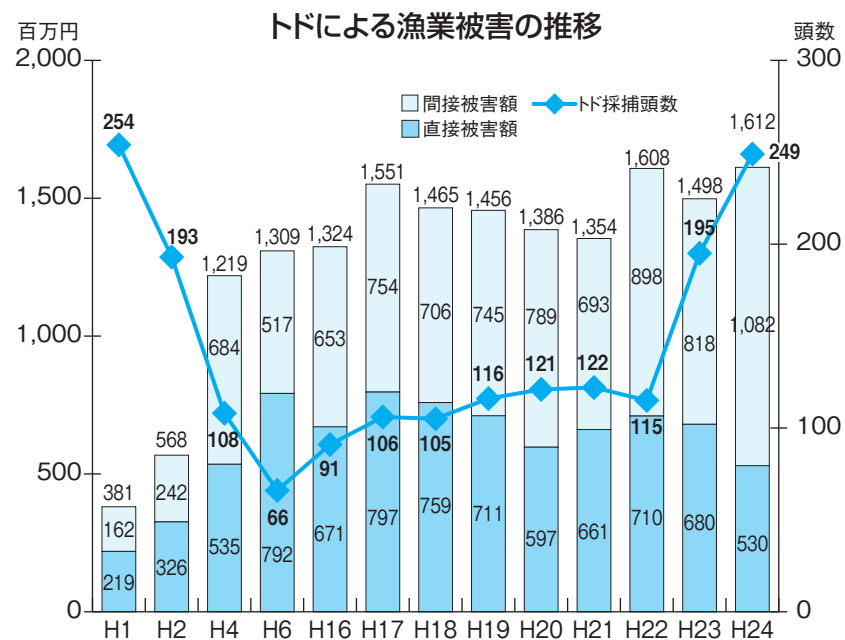
- 01 **浜の元気印!**
枝幸漁協女性部がぎょれん鹿島食品センターを視察
- 02 **特集1**
日本海トド漁業被害対策緊急集会を開催
- 06 **特集2**
平成25年度 全道漁協青年部大交流会
- 08 漁師さんの出前授業
- 09 **浜の家族物語**
新星マリン漁協／古枝 忠さん ご家族
- 10 頭すっきり!! ブレイクタイム
- 11 新しい3カ年の漁協役職員研修を行っています
- 12 なみまるインフォメーション
- 14 渡島・釧勝地区で三連合同研修大会が開催されました
- 15 **大漁祈願!**
浜のほっとニュース
- 16 **協同の力でコスト削減**
系統ブランド資材紹介コーナー
- 17 **みなさんのお便りでつくるページ**
なみまる おたより箱

表紙の写真
新星マリン漁協／古枝 忠さんご家族です。



春のほたて稚貝の出荷を控え、沖での手入りに忙しい鬼鹿漁港

日本海トド漁業被害対策緊急集会を開催



○直接被害：捕食の際に漁網などが破損する漁具被害(刺し網、ロープ等)
 ○間接被害：網にかかった漁獲物に対する被害。漁網に残された残滓より算出。
 丸呑みされたものは含まず。



高橋はるみ
北海道知事



横山信一
農林水産大臣政務官

来賓を代表して挨拶をされた方々



北海道議会水産林務委員会
北原秀一郎 副委員長



北海道町村会
船橋泰博 副会長(羽幌町長)

り代替網の負担が漁業者に重くのしかかり、投網時間の短縮などによる漁獲効率を下げざるを得ない操業を強いられています。



石狩湾漁協 和田専務

当地区では特に、にしん漁での被害が目立ちます。にしんは漁獲効率を上げるため魚体サイズに合わせた数種類の網や予備の網など、漁具調達コストがかかります。トド被害により



ひやま漁協 上出専務

榎山・松前地区では近年来遊がなかった地区でも被害が発生し、トドの南下傾向が伺えます。また底建網では自主休漁に追い込まれる地区や、強化網による対策でも補助を受けて



利尻漁協 川原組合長

トドによる漁業被害は日本海沿岸の刺し網漁業者を存続の危機にまで追い込んでいます。被害は年々深刻さを増し、自主休漁や果ては廃業を余儀なくされ、もはや自助努力は限界です。被害を減らすには、個体数の削減以外にないと思います。現行制度はトドを守るものであつて、我々漁業者を守るものではないように思えます。

◆刺し網漁業の現状について

各地区の被害状況についての報告の後、水産庁と道から駆除、追い払い、強化網等の漁業被害防止対策事業について説明がなされ、それを受けて意見交換を行いました。

◎意見交換

日本海トド漁業被害対策緊急集会を開催

日本海トド漁業被害対策緊急集会



早急に抜本的な対策を講じるよう強く求めました



北海道日本海沿岸漁業振興会議
今委員長

日本海沿岸の漁業経営はトド等海獣類の深刻な被害に直面しています。関係機関の支援の下、漁業被害防止対策などに取り組んで

きましたが、被害は拡大の一途をたどっており、もはや漁業者自らの努力では如何ともしがたい状況です。またトド等海獣類による漁業被害は、漁業のみならず漁村集落・地域経済にまで多大な影響を及ぼしています。本日は、日本海沿岸漁業の窮状をご理解いただき、現状を打破するための対策を早急に講じてくださるようお願いいたします。

◎トド等海獣類による漁業被害の報告

事務局より食害・漁具被害額、来遊頭数、駆除頭数と駆除の実態などについて報告しました。その後、各地区の被害状況について組合長・専務から報告されました。

◎主催者挨拶

2月1日(土)、札幌市の第2水産ビル8階会議室において、北海道日本海沿岸漁業振興会議(事務局・ぎょれん漁政部)が主催して、「日本海トド漁業被害対策緊急集会」を開催しました。会場には、日本海沿岸19漁協の組合長・専務 参事に加え、日本海沿岸市町村の首長も参加し、横山信一農林水産大臣政務官、水産庁、道内選出国會議員、高橋はるみ道知事、道議會議員等に対して、一刻も早いトド等海獣による漁業被害への救済を求めました。

《稚内地区》



船泊漁協 大村専務

当地区は昔からトドが来遊していたものの、近年は来遊頭数の増加により甚大な被害が発生しています。また、発生時期も早期化・長期化しており、たら、ほっけなど刺し網漁業全般に関わる大きな問題となっています。特ににしん漁は操業自体が成り立たない状況です。

《留萌地区》



北るもい漁協 蝦名専務

留萌地区では、ほっけ、たら漁に加え、かれい漁での被害が目立ちます。かれい漁はあがる程度海中に網を仕掛けておく時間が必ず要です。しかし、被害を減らすため、漁獲効率を犠牲にして、投網時間を短縮する日網操業で対応しています。また、増え続けるトドによる漁業被害により3月は自主休漁せざるを得ない状況です。

トド漁業被害現地視察を実施

2月2日(日)、石狩湾漁協浜益支所において、横山政務官、水産庁、道水産林務部、ぎょれん一行が、千代志別にあるトド上陸場を海上から視察しました。

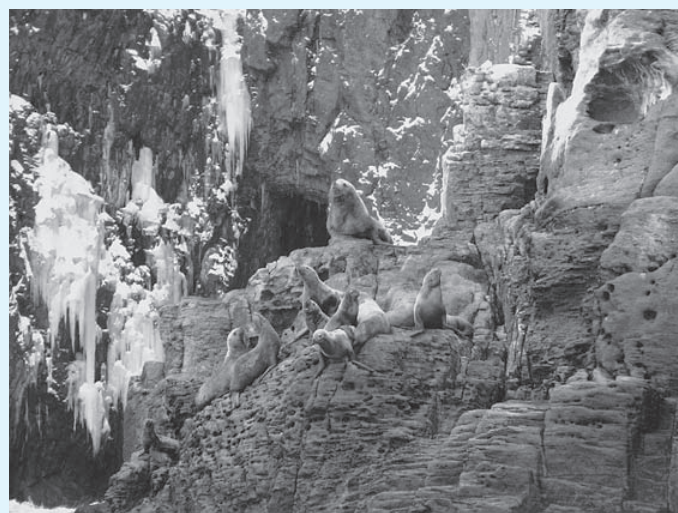
トドは人が立ち寄らないような場所を上陸場としており、船のスクリュー音を聞き分けているそうです。この日は普段トドの駆除に使わない漁船で視察を行ったため、トドは安全な船と判断したためか、20～30mまで近づいても逃げることがなく、逆に一斉に吠えて漁船を威嚇してきました。

トド岩には防護柵が設置されていますが、トドはそれを破壊して上陸しており、海上から3～4m程の高さまで登っていました。また、岩の高いところには体の大きいオスと思われる個体も確認できました。

視察で確認できたトドは100～200頭程でしたが、トド岩の周囲には獣臭が立ち込め、今回目視で確認出来た頭数より多く生息している可能性も感じられました。



被害の状況について説明を受ける
横山農林水産大臣政務官



岩場の高い部分には体の大きいオスとみられる個体も



トドが防護柵を折り曲げて上陸場に侵入していました



船に向かって威嚇行動をとるトド

◆駆除事業の課題について



余市郡漁協 篠谷組合長

駆除は被害削減に有効な手段です。しかし、5千から8千頭も来遊するのには、採捕認可数が253頭では被害の軽減にほど遠く、若干増やしても効果は知れていません。駆除頭数は、漁業が成り立つ程度まで拡大して頂きたいと思っています。

また、駆除は揺れる船上での作業で、漁業者自らがハンターとなるしかないのが現状です。トドの来遊時期は漁期と重なり、駆除のために休漁せざるを得ません。漁業との両立を図るには限界があることから、専門機関による駆除も



ひやま漁協 市山組合長

榎山・松前地区ではオットセイによる被害も年々増加し、日高・稚内地区ではアザラシの被害も増えています。北海道の漁業者にとって海獣類による被害対策が、全道共通の懸案事項です。各海獣類を管理している法律や管轄省庁がそれぞれ違い、対処にも温度差があります。農林水産省・水産庁に加え、環境省も一緒になって総合的に問題を解決してほしいと思っています。

◆強化刺し網等による被害防止対策について



石狩湾漁協 丹野組合長

検討頂きたいと思っています。

先日、国費による離島と沿岸地域で連携した一斉駆除の実施案が出されました。全額補助は活用したいのですが、我々のように近郊に離島がない地域では効果的な駆除は計画できません。今後に向けた実態に即した要件の緩和等をお願いします。

強化刺し網は開発途上の漁具でもありますが、当漁協では10年ほど前から関係行政機関の協力の下、導入試験事業に取り組んできましたが、破網被害もあり、まだ改善の余地があります。また価格の割高感が大きな課題です。刺し網は100地区あれば100通りの仕様が有ると言われるほど多様な漁具です。事業の推進にあたっては、各地域と魚種で満足のいく結果が出るまで継続していただきたいと思っています。

◎総括

今回の意見を受けて、横山政務官、水産庁の長谷成人増殖資源部長から、「駆除頭数の見直しにはスピード感を持って対応していく。」ことや「強化刺網事業試験は、効果を検証しながら今後の対策へとつなげていく方針」との説明をしました。



水産庁
長谷増殖資源部長

意見を総括した今委員長は「各種対策を講じてもおお、漁業被害の苦しみが解放されることはなく、沿岸漁業の経営は一刻の猶予もない状況です。もはや抜本的な対策を講じて頂く以外に道はありません。」と強く訴えました。最後に、出席の各国会議員から、問題解決に向けて取り組んでいく旨の意見表明がなされ、閉会しました。



海獣類による漁業被害の深刻さを訴える発表者

平成25年度 全道漁協青年部大交流会

全道の青年部員285名が出席して盛大に開催

参加した皆さんの熱気に包まれた会場

1月25日(土)札幌市の第2水産ビル8階大会議室において、北海道漁協青年部連絡協議会(道漁青連)が主催して第51回全道漁協青年部大交流会が開催されました。大会には、全道各地から285名の青年部員が参加し、研究発表やTPP交渉をはじめとする水産物貿易問題に関する講演を聞いて、浜の将来を担う青年部員としての研鑽に努めました。

『水産物貿易問題について』

ぎよれん 斎藤参事

講演では、ぎよれんの斎藤参事が水産物の貿易問題をテーマに、TPPやFTAをはじめとする各種貿易交渉の状況を紹介しながら、北海道漁業協同組合長会議が示している北海道の水産業界による対応について説明しました。「これから浜のリーダーとして、浜全体を、そして仲間を引っ張っていく存在として活躍が期待される青年部員の皆さんにとっても、貿易問題は非常に大きなテーマだと思っています。是非、自らが直面している問題として捉えてほしいと思います。今回お話したことをきっかけに今後の動向を注意深く見ていくって下さい。」と呼びかけました。

講演後の質疑応答では、「TPP参加による関税の全面撤廃も大きな問題であるが、それよりも漁業補助金の原則禁止の方に関心があります。交渉では、どんなことが議論されているのですか。」などと積極的に質問が出され、出席した皆さんの水産物貿易問題に対する関心の高さが伺われました。



講演をするぎよれんの斎藤参事



講演を聞いて水産物貿易問題について質問する参加者

全道漁協青年部クイズ大会

今年も、恒例の「クイズ大会」が行われ、参加した皆さんは本道漁業、漁協青年部活動、協同組合運動などに関する8問の問題にチャレンジしました。かなりの難問揃いでしたが、全問正解の1人を含む5名の方が成績優秀者として表彰されました。

さあ、あなたもクイズにチャレンジ!

Q1. 平成24年の全国の水揚げ量は約484万トンでしたが、このうち北海道の水揚げ量は何%でしょう?

- ① 17% (約82万トン) ② 24% (約114万トン)
③ 37% (約179万トン)

Q2. 平成24年度の北海道で水揚げ量の多かった魚種の正しい順番はどれでしょう?

- ① 第1位:さけ 第2位:ほたて 第3位:すけそ
② 第1位:ほたて 第2位:すけそ 第3位:さけ
③ 第1位:ほたて 第2位:すけそ 第3位:さんま

Q3. 北海道の漁協の組合員のうち、一番人数が多いのはどの世代?

- ① 50歳代 ② 60歳代 ③ 70歳代以上

Q4. 北海道漁協青年部員2669人のうち、最も部員数が多いのは、北見地区の423人ですが、2番目に青年部員数が多いのはどの地区でしょう?

- ① 釧路地区 ② 根室地区 ③ 渡島地区

Q5. 協同組合は組合員の参加があつての組織です。これを表す「三位一体」とは、出資・運営・〇〇することを指しますが、〇〇には何が入るでしょう?

- ① 利用 ② 労働 ③ 協力

Q6. 古くから北海道の絶品とされていた、「蝦夷の三絶」のひとつは、次のうちどれ?

- ① 十勝川のフナ ② 朱鞠内湖のワカサギ ③ 大沼のコイ



クイズに挑戦する皆さん



全問正解者1名を含む成績優秀者の方々が表彰されました

① 90 ② 10 ③ 20 ④ 30 ⑤ 40 ⑥ 50 ⑦ 60 ⑧ 70 ⑨ 80 ⑩ 90 (最優秀)

〈大会長挨拶〉

将来を見据えて一致団結して前進しましょう



道漁青連 会長
國分 隼人さん

昨年は、漁業用燃油の高騰やTPP交渉の問題、福島第一原発事故による風評被害など北海道の漁業を取り巻く環境は厳しさを増しました。北海道水産物の将来に影響を及ぼす諸課題に直面している今、われわれ青年部員はこうした諸課題にいかに対処していくべきかを考え、浜の未来を担う者として、仲間と力を合わせて将来を見据えて前進していくなくてはなりません。今こそ一致団結して立ち向かっていきましょう。

〈研究発表〉

大会では、昨年1月の全道青年女性漁業者交流大会の入賞者による研究発表が行われ、それぞれ活動内容と成果を披露しました。

ひらめ底建網オーナーin遠別

あなたも、高級天然ひらめ漁の網元に。



遠別漁業協同組合青年部
白幡 広喜さん



厚岸漁業協同組合
えびかご漁業班
高田 清治さん

漁業者自らができる資源管理の実践
―「大黒しまえび」に夢を託して―



道漁青連から記念品を贈呈された新成人を代表して決意表明をする常呂漁協宮崎征也さん



【古枝さんご一家】 古枝 忠さん(33歳)、美佳子さん(32歳)、来華ちゃん(3歳)

※忠さんのご両親徳平さんと和子さんと一緒に

「浜の家族物語」は、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、新星マリン漁協の古枝さんご一家です。

漁師は志を高く持ち理想を追求できる仕事

年間を通じてはたて養殖漁業に従事する忠さんは、古枝家の3代目。留萌高校を卒業後、大学進学に向けて勉強に励む中で、喘息を患っていた父の仕事を手伝いたいと思い、漁師を志しました。「今は漁師をやった良かったと思っている」と話す忠さん。中学、高校と野球に打ち込み、浜での仕事を手伝ったことがあまり無く、1年目は船酔いが苦しかったと教えてくれました。

「漁師は志を高く持って、どこまでも理想を追求していける仕事」という忠さん。はたて養殖では試行錯誤しながら納得できるはたてを目指して頑張った分、成果として返ってくところが魅力だそうです。

昨年若く乗組員と二人で報徳丸に乗って沖に行く忠さん。「自分の管理が悪くてはたてを死なせてしまったはどうしようもないから」と、1年で最も忙しい春の稚貝出荷に向けて、沖でのはたての管理に余念がありません。

実家のはたて養殖を引き継ぎ、夫婦二人三脚で頑張ります

留萌育ちの美佳さんは元ぎよれん職員。「うまい

よ！るもい市」の前身である青年部のイベントを手伝った時、忠さんと知り合いました。結婚してからは毎日朝から夕方まで、今は長女の来華ちゃんが幼稚園に行っている間に、陸仕事を手伝います。「夫婦で、仕事のことを相談しながら出来るのが良いです」と笑顔で話します。縄跳びやフラフープが好きな来華ちゃんは幼稚園の年少組。人一倍の頑張り屋さんで、入園当初は跳べなかった縄跳びも毎日の練習で得意になりました。

忠さんは3年前から青年部の鬼鹿支部長を務め、1月に新星マリン漁協の青年部長に就任しました。任期中「はたての加工品づくり」などいろいろと挑戦してみたいそうです。青年部では今年から、町内の農協などと四つの青年部で協力して雪かきボランティアを始めました。「小さなきっかけでも若い力で町を元気にできれば」と意気込みを教えてくださいました。

「漁師を始めてから思い描いてきたことをこれから実現していきたい」という忠さん。4月から会社化する実家の漁業部を、忠さんが社長に、美佳子さんが経理を担当して、両親から引き継ぎます。夫婦二人三脚で、高い志を持ちながら、理想のはたて作りを目指して頑張っていきます。



元気良く答えて!



お魚クイズに元気に手を挙げて答える子ども達

見て!



自由自在に網針を操る石井さんの手元を子ども達は食い入る様に見つめます

聞いて!



「はたてはどのくらい大きくなるの?」の質問に答える小笠原さん

触って!



石井さんに教わった刺し網の仕組みを魚の模型を使って試してみました

見て、聞いて、触って、参加して 漁師さんと触れ合いながら楽しく学んだ北海道の漁業

講師を務めた道漁青連宗谷地区会長の石井啓太さんと留萌地区会長の小笠原悠葵さん。以前に出前授業を経験されている2人でも子ども達と接するまではちょっと緊張すると教えてくれました。

はたて漁や鮭定置網漁をする石井さんは、沖での漁の仕方や鮭のさばき方の映像を見せながら解説。はたて養殖漁業をする小笠原さんは、はたての模型やザブトン籠を見せながらはたての生態や育て方を説明しました。「生まれたばかりのはたてはみんなオスです。」と説明する

北海道漁協青年部連絡協議会(漁青連)とぎよれんが共催して年2回行っている「漁師さんの出前授業」。第17回目となる今回は、1月31日(金)、札幌市立資生館小学校で行われました。講師を務めた2人の漁師さんは子ども達に日頃の仕事や獲っている魚について、楽しくわかりやすく教えてくれました。

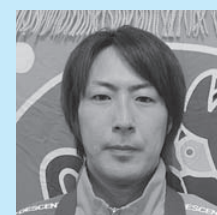
きょうの先生(漁師さん)をご紹介します!



道漁青連宗谷地区会長
(宗谷漁協)
石井 啓太さん

【プロフィール】

1976年 東京都豊島区池袋出身(37歳)
高校卒業後、魚屋などで働いた後、鮭定置網漁に従事。
☆好きな魚料理 鮭のムニエル、いくら
☆特技 魚をさばくこと、網修理



道漁青連留萌地区会長
(北るもい漁協)
小笠原悠葵さん

【プロフィール】

1983年 苫前郡羽幌町出身(30歳)
北海道立漁業研修所を卒業後、家業のはたて漁に従事。
☆好きな魚料理 はたての刺身
☆特技 ロープワーク

資生館 小学校編



ご参加ください！ 新しい3力年の漁協役職員研修を行っています

厳しい漁業環境や社会の変化に対応するため、組織における人材の育成はますます重要となっています。ぎょれんでは浜の砦である漁協のより強固な組織体制の確立を目指し、漁協職員の人材育成に取り組んでいます。今回はそのなかから、今年度より「新たな3力年計画」のもとに実施している「漁協役職員教育研修」についてご紹介します。

【平成25年度～27年度漁協教育研修計画のポイント】

1. 「役員研修」は過年度実施内容を踏襲しつつも、コンプライアンス（法令順守）等の研修では外部講師の招聘なども含め内容の充実を図ります。
2. 「職員研修」のうち「全道研修」は外部講師等を招くなど「スキルアップ研修」と位置付けて実施。一方「地区・ブロック研修」は「基礎型・実務型研修」として位置づけ、きめ細かく内容を充実させました。
3. 特に研修要望の高い「初級簿記・経理研修」は、研修機会を増やし、漁協職員の簿記経理知識の底上げを図ることを目的に、地区・ブロックを細分化し開催しています。
4. 地区実務研修会は、事例に基づく内容として漁協実務に沿った実践的なものとします。
5. 食品衛生管理について全道及び地区・ブロック研修を新たに実施し、漁協の食品品質管理の向上を図ります。

【今年度行われた研修の一部をご紹介します】

新たな教育研修計画のもと、1月と2月に札幌で行われた2つの研修をご紹介します。

◆平成25年度全道漁協職員簿記・経理研修会（実務レベル）

1月28日（火）から29日（水）の2日間、札幌市の第2水産ビル4階会議室において、平成25年度全道漁協職員簿記・経理研修会（実務レベル）が行われました。これまでの中級研修を漁協実務に沿ったものに変更しました。また、12月決算漁協と3月決算漁協の職員が参加できるように、隔年で1月と5月に開催します。今回は、主に3月決算漁協の簿記・経理経験1年以上の職員27名が参加し、決算整理事項に関する講義を受けたあと、実際に決算書類作成の演習を行って理解を深めました。



決算書類の作成にも取り組む参加者

◆平成25年度全道漁協新任役員研修会

2月12日（水）から14日（金）にかけて、札幌市の第2水産ビル4階会議室において、平成25年度全道漁協新任役員（理事・監事）研修会が行われました。ぎょれんの本間常務より、最近の本道漁業をめぐる情勢について講義が行われ、全道の漁協から参加した40名の新任理事・監事の皆さんが熱心に耳を傾けました。研修会ではその他、協同組合論、水産業協同組合法、漁協財務の見方、コンプライアンスについてなど、漁協経営の基礎となる多岐にわたる講義が、3日間集中的に行なわれました。

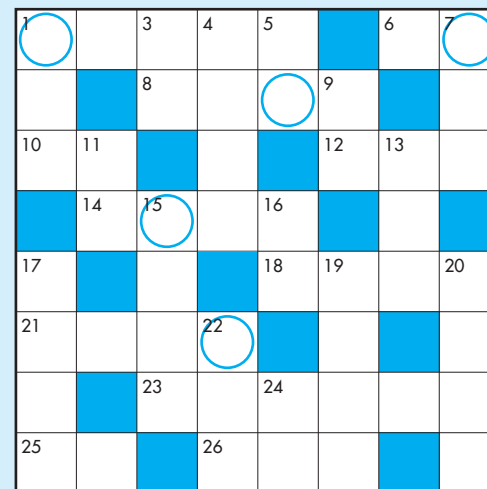


漁協経営に不可欠な知識を得るために充実した3日間となりました

頭すっきり!! ブレイクタイム Break Time

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。「あかりをつけましょ、ぼんぼりに…」店頭で白酒・菱餅・あらねなどが並ぶこの時期。もうそこまで近づいている春に思いを巡らせてワクワクしますね。



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

2月号の解答と当選者 セツブン									
アツ	カン	ソ	ボ	リ					
マリ	モ	カ	ブ	リ					
モ	イ	ハ	シ	ハ					
リ	ク	イ	ラ	ス					
セ	ツ	ケン	コ	テ					
タ	ケ	イ	シ	ヤ					
ス	モ	モ	ヤ	ク					
キ	ソ	リ	ミ	ト					

（湧別町）加藤 優来さん
（登別市）田村 里奈さん
（留萌市）竹中 玉絵さん
（八雲町）荒谷 篤夫さん
（稚内市）石井 麗子さん

タテのカギ

- ① 東海道・山陽新幹線はこだま、のぞみと○○○
- ③ 今年の干支
- ④ 参拝するとき箱に入れます
- ⑤ マグロを英語で
- ⑦ 飛行機に乗ると○○○が貯まります
- ⑨ ビーチや砂漠にたくさんあります
- ⑪ 「ダンボ」はゾウ、「プーさん」は？
- ⑬ ドクターを日本語で
- ⑮ イタリアの代表的な米料理
- ⑯ 夜行、観光、路線、などの種類があります
- ⑰ まつ毛に塗ると、長く濃くなる
- ⑲ 就寝⇄
- ⑳ 男女雇用機会○○○○法
- ㉒ 「サクラサク」は合格○○○
- ㉔ ○○人・大鵬・卵焼き

ヨコのカギ

- ① 家や門に掲げる名札です
- ⑥ 昨年大ヒット。NHK連続テレビ小説「○○ちゃん」
- ⑧ ゼロより小さい数には、この記号が付きます
- ⑩ 海⇄
- ⑫ 世界最長の「○○○川」
- ⑭ アフリカ生まれの木琴
- ⑯ 「上を向いて歩こう」の欧米でのタイトルは？
- ㉒ 以前「レギンス」はこう呼ばれました
- ㉔ 2020年にオリンピックが開催される都道府県
- ㉕ ケーキにも入れる、サトウキビが原料の蒸留酒「○○酒」
- ㉖ 大と小がある臓器

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。
（印刷のズレや汚れは関係ありません。）



※答えは17ページにあります。

香港にて道産干貝柱の普及活動を実施

道産干貝柱の広告が印刷されたトラムが香港を走りました

04

道産干貝柱の主要輸出先である香港にて、1月10日(金)～2月6日(木)の4週間、道産干貝柱の広告を全面にまとったトラム(路面電車)2台が街中を走りました。

この宣伝活動は、オホーツク乾貝柱宣伝協議会とぎょれんが、干貝柱の需要が高まる香港の旧正月を含む時期に毎年実施しています。

香港のトラムは市民の日常の足としてはもちろん、総2階建てのユニークなつくりから観光客の注目も高い乗り物です。車体には中国語で「本物の日本の貝は、味が大きく異なります。日本北海道元貝(元貝は干貝柱の意味)」のキャッチフレーズとともに干貝柱の画が大きく描かれ、街ゆく多くの人々に道産の良質な干貝柱を印象づけました。



香港の街を走る「日本北海道元貝」のトラム

サハリンエナジー社との意見交換会を開催

双方で綿密な連携を図っていくことを再確認しました

05

2月14日(金)、ぎょれん本所会議室において、サハリンエナジー社と道、北海道漁業環境保全対策本部(以下、環境本部)との意見交換会が開催されました。今年度2回目となる今回は、サハリンエナジー社のオレッグ・サボジュニコフ広報・渉外担当部長から、最新の安全対策等について報告がありました。それに対して、環境本部の平野本部長から冬の時期のタンカーの運航や流氷の状況について質問を行いました。また道の総務部危機対策局の山北主幹から、万が一の事故発生時の迅速な対応と、速やかな連絡対応を行うように申し入れました。サボジュニコフ部長は「友人である皆さんと、これからもより一層透明でオープンなコミュニケーションを取っていきたい。」と述べ、道および環境本部との綿密に連携していくことを強調しました。



サハリンエナジー社のオレッグ・サボジュニコフ広報・渉外担当部長(中央)とラリー・サ・ヤモトメディア担当(右)

ぎょれん×コンサドーレ札幌 食育&サッカー教室

元サッカー日本代表の吉原宏太さんが中学生を指導しました

06

2月1日(土)、石狩市立花川北中学校に集まった市内の中学生34名を対象に、「ぎょれん×コンサドーレ札幌 食育&サッカー教室」を行いました。サッカー教室の講師はコンサドーレ札幌ジュニアスクールコーチの佐々木滋さんと元サッカー日本代表FWの吉原宏太さん。いつもの基本練習にも「何のための練習か」を考えることが必要だと教えてくれました。保護者を対象の食育教室では、ぎょれん職員から、秋鮭・ほたて・昆布の生態や漁法などを紹介し、コンサドーレ札幌の管理栄養士を務める小松信隆さんが「スポーツをする子どもに必要な栄養」と題して講演しました。

最後に参加者全員で記念写真を撮影した後、吉原さんから「常にどれだけ中身の濃い練習が出来るかを考えよう。練習が終わった後にはしっかり内容を振り返ろう。そして北海道の魚を食べよう。」と子どもたちにエールが送られ、通算10回目となる教室は無事終了しました。



吉原さんが上手なバスの受け方も丁寧に指導してくれました

下請法研修会を開催

下請法に対応する際のポイントについて解説しました

01

2月18日(火)、札幌市のセンチュリーロイヤルホテルで、ぎょれんが主催して下請法研修会を開催し、各漁協の総務・加工部門などで下請法に関連した業務を担当する役職員27名が参加しました。下請法(下請代金支払遅延等防止法)は、親事業者が下請事業者に対して行う優越的地位の濫用行為を規制する法律です。研修会では、ぎょれんのCSR担当者から、下請法の対象となる取引やその禁止行為など基礎知識の修得を目的に、下請法に対応する際のポイントについて解説しました。説明の後に行われた質疑応答では、出席者から具体的なケースを想定した質問が出されるなど、皆さんからの高い関心が伺われました。



説明会では、下請法に対応する際のポイントを解説しました

全道漁協指導部門担当者会議(平成25年度補正予算に関わる説明会)

各事業をぜひご活用ください

02

2月18日(火)、札幌市のセンチュリーロイヤルホテルで、ぎょれんが主催し、平成25年度全道漁協指導部門担当者会議を開催しました。主催者を代表してぎょれん本間常務は、「昨年6月に全道で燃油高騰に対する緊急集会を開催し、第2弾の緊急対策として省エネ機器導入などを含む850億円の補正予算がつけました。また、漁村の所得向上を目指す『浜の活力再生プラン』策定推進事業も新たに措置されましたのでぜひ有効に活用していただきたいと思います。」と挨拶。会議では、水産庁と全漁連、漁業経営安定化推進協会から、浜の活力再生プラン策定推進事業、省燃油活動推進事業、省エネ機器等導入推進事業など一連の事業について説明が行われました。



主催者を代表して挨拶をするぎょれんの本間常務

平成25年度全道漁協漁場環境保全研修会を開催

海洋再生可能エネルギーをテーマに講演されました

03

2月19日(水)、札幌市のセンチュリーロイヤルホテルで、北海道漁業環境保全対策本部(以下、環境本部)主催の平成25年度全道漁協漁場環境保全研修会が開催されました。会場には、漁協・系統、行政機関から約100人が集まりました。現在、洋上風力発電計画が全国で推進されている状況を受け、今年度は洋上風力発電に代表される「海洋再生可能エネルギー」をテーマに、2人の専門家が講演しました。

主催者を代表して環境本部の平野本部長が挨拶した後、一般社団法人海洋産業研究会(以下、海産研)の塩原泰研究部長補佐は、洋上風力発電とは何か、また、海産研が提案する漁業と共存できる洋上風力発電について解説した他、漁業が先行利用している海域では洋上風力発電開発は進めるべきではないとの考えも示しました。

全漁連の高浜彰漁政部長は、海洋再生エネルギーの利用にあたって、昨年11月に全漁連の検討会がまとめた「漁業再生可能エネルギー利用促進のあり方にかかる有識者検討会」の中間とりまとめについて説明しました。

会場からは、海産研の「未利用の海域を利用して海洋開発を促進する」との提案に対し、漁業資源のためには未利用の海域も含めて生態系全体が保全されるべきだとの発言があったほか、固定価格買取制度による電力利用者の負担増を懸念する発言などがあり、活発な意見が交わされました。



講師を務めた全漁連漁政部の高浜部長(左)と海洋産業研究会の塩原研究部長補佐(右)

漁のほつとニュース

大漁
祈願!

梶山

江差地区でなまこ漁(潜水)が始まりました。ご存知の通り、中国のなまこ需要に支えられ近年の北海道のなまこ価格は大幅に値上がりしました。高価な乾燥なまこは贈答品として珍重されるなど、生産量の多い大連市ではなまこ専門店が軒を連ねます。北海道産は最高級の品質評価となっており、最も高い価格で流通されています。

日高

管内の毛がに籠漁が昨年に比べ好調です。2月20日現在で昨年より約4割増となっています。漁期は日高西部が2月下旬まで、日高東部が3月下旬までと、終漁に向けて一層のサポートを期待したいところです。また、3月からは各地でつづ籠漁、えび籠漁が解禁となり、浜はこれまでと違った活気を見せます。春までもう少し。安全操業と大漁を願っています。

北見

当管内は、例年より遅れましたが流氷が到来し、一帯が流氷に覆われています。一方、サロマ湖内ではかき漁や氷下待ち網漁でちか、きゅうり、黒がれい等が順調に水揚げされており、3月の中旬頃からは底曳網漁や毛がに籠漁が順次開始される予定です。オホーツク海の海明けが待ち遠しい限りですが、なによりも安全操業と豊漁を心より祈願します。

函館

噴火湾は本格的なほたての水揚げ時期を迎えようとしています。まだまだ1日あたりの水揚げ数量は僅かですが、3月以降には最盛期となります。昨年は価格も良く浜も活気にあふれていました。今年も期待したいところですが、主力となる中国向け輸出は昨年ほどの勢いが感じられず、生産者のみならず加工業者も含め、動向に気を揉む日々となっています。

釧路

2月上旬までは昨年より降雪量が少なかったものの、発達した低気圧の影響で一気に雪が積もり景色が一変しました。釧路東部地区では2月1日に毛がに漁が解禁されました。値段の上がった昨年と比べ、1割ほど値下がりしています。他にも管内では、すけそう刺網漁などが行われていますが、厳しい寒さが続く時化早い時期ですので、事故のない安全操業を願っています。

稚内

1月下旬に入り、稚内・利礼地区では毛がに刺し網漁が始まりました。価格は昨年と同水準でスタートし、2月中旬で昨年の160%近い水揚げとなっています。また、オホーツク地区でも毛がに籠漁・ほたて漁の準備が着々と進み、来月の操業開始に向け浜は活気づいています。まだまだ厳しい寒さが続きますが、安全操業で豊漁となることを願っています。

小樽

管内にしん漁は、序盤の2月2日に100トン以上の水揚げとなるなど順調でしたが、中旬以降は低調気味です。例年に比べ時化も多く、18日現在で前年の5割程度と芳しくありません。小樽市内では7日から16日にかけて、冬のイベント『小樽雪あかりの路』が開催され、連日多くの人で賑わいました。にしんも再び賑わいを見せることを期待しています。

室蘭

盛漁期を迎えたほたて漁は凍れや時化が多く、出漁を見合わせる日が多くなっています。今後の好天を祈るばかりです。助宗刺網漁は終盤を迎え、水揚げは減少傾向にあります。浜値は中国向け輸出が好調だった影響もあり昨年より高値で推移しています。3月1日からはえび籠漁が始まります。生産者の方々の安全操業・豊漁を祈念しています。

根室

別海漁協の風連湖水下待ち網漁でのにしんの水揚げが続いています。今年は結氷の遅れから例年より2週間程遅い網入れとなりましたが、水揚げが45トンを超える日もあり、稚魚放流の効果が表れているようです。また歯舞漁協で1月末に解禁となった、ふのりの初入札は高値でのスタートとなり、今後の採取量の増加に期待がかかります。

留萌

今年の留萌管内は、2月に入って時化が多く、満足に操業が出来ない日が続いています。時化の合い間を縫ってのにしん漁では、まだまとまった水揚げがありません。昨年は、1日で1~2トンの水揚げがあり、浜は漁模様の回復を待ち望んでいます。これから春漁に向けて、稚貝出荷やえび籠漁、かれい漁などで浜が本格的に賑わい、活気づく時期が近づいています。



渡島・釧路地区で三連合同研修大会が開催されました

年に一度、管内の購販・マリンバンク・共済推進委員の皆さんが一堂に会し、情報交換や懇親を深める三連合同研修大会。今回は2月に行われた、渡島・釧路両地区の大会についてご紹介します。

【渡島地区】

2月6日(木)に函館市湯の川の「花びしホテル」において、第11回JF渡島地区漁協マリンバンク・共済・購販推進委員合同研修大会が行われ、管内から240名が参加しました。大会では、委員として推進活動に尽力され、その普及と啓蒙活動に貢献された方々の表彰が行われた後、



研修の中で話題提供するぎょれん函館支店渡部支店長

信漁連の大口常務が、「青年部員意識調査から学ぶ」と題し講演しました。

休憩を挟んで、各系統からクイズを5問ずつ出題し委員の皆さんに解いてもらいました。ぎょれんからは渡島管内の水揚げやなまこの生態、系統ブランド資材の生産国にまつわる問題など

幅広い分野から出題。ぎょれん函館支店の渡部支店長はクイズの解答とともに、関連した漁業を取り巻く環境等の話題を提供し、参加者の皆さんとの交流を深めました。



副大会長として閉会の挨拶をする岡山弘一 渡島地区購販推進委員長



漁業資材展示コーナーで系統ブランド資材を紹介しました

懇親会で「ぶり製品」の試食を提供

懇親会では、ぎょれん総合食品の製品「ぶりフライ」「ぶりソテー」を提供し大変好評でした。「ぶり」は渡島管内でも近年水揚げが急激に増加しており、価格・流通対策が急務となっています。この製品はぎょれんの対策事業の一環として開発した商品であることを、委員の皆さんにご紹介しました。



「北海道産ぶりフライ」と「フライパンで出来る天然ぶりソテー」を皆さんに試食してもらいました

【釧路地区】



系統各連の事業に関するクイズに挑戦しました

1月31日(金)、阿寒湖温泉「まりむ館」において、第15回釧路地区マリンバンク・購販・共済推進委員合同研修大会が行われ、管内から128人が参加しました。大会ではテレビでお馴染みの手相・タロット占い鑑定士の深川導運さんが「占いを通した人生観」を



大会が行われた阿寒湖温泉「まりむ館」

テーマに講演。総合研修は「クイズで研修」と題して各系統支店長・支所長が講演しました。ぎょれん釧路支店井下支店長はクイズの解答と合わせて管内主要魚種の水揚げと消流状況、購買事業では系統ブランド資材について説明し、委員の皆さんに理解を深めてもらいました。

編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん3月号への感想・ご意見など
- ②10ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉3月20日までに送りください。

(郵便) 〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
(FAX) 011(242)3543
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介いたします。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

10ページの間違えがしの答え



編集後記

仕事に合わせて「4月始まり」の手帳を使っているため、例年この時期は新しい手帳を探します。買うときは、ページ内容や色、形にもこだわりますが、「これだ」という1冊を見つけたら、あとは、取材したいこと、形にはならないアイデアの欠片のような言葉や画、実行出来たときはOKマークなど何でも書き込みます。以前の書き込みにヒントをもらうこともあり、まさになくてはならない相棒。色々考えを巡らせる良き相棒に出会えるよう、店頭を覗く日々です。(工藤)

2月24日にソチオリンピックが閉幕しました。期間中、寝不足になった方も多いのではないのでしょうか。各競技でそれぞれ素晴らしいドラマがあり、感動して胸が熱くなることもありました。先日お会いした漁師さんは、沖仕事に出掛ける時間がちょうど競技の終盤、メダリストが決まることも多かったそうです。「家を出る時、応援した選手が活躍してたら、仕事でも調子が良かったよ。」と冗談っぽく笑っていました。確かに私も日本人選手の活躍を伝える朝のニュースが、出勤前のカンフル剤となりました。(櫻田)

毎日寒い日が続いていますが、もうすぐ春がやってきます。チューリップの咲くころが大好きです。春になると漁師は忙しくなりますが、老体にもち打って頑張ります。
(天塩町 嶋崎 幸子さん)
毎月主人が帰って帰ってくるなみまるくんを楽しみにしています。
(岡山県 津内 千菊さん 60歳)
夫が還暦で厄払いに神社に行きました。これからは体に気をつけて、大漁してください。
(根室市 根室のイカ子さん)

毎日寒さが厳しく、日陰のところがスケートリンクのようで足元が大変です。皆さんも転ばぬよう気をつけてください。今年こそ、昆布がたくさん採れるようにと願っています。
(浦河町 若林 秀章さん 46歳)
今年も漢字検定を受けました。8級合格できるというまあ卓球も頑張るぞ。
(根室市 北 壮矢さん 8歳)

2月に入り寒い毎日が続いています。皆様お元気でしょうか。このところゴツコの料理を好きな孫が思い出されます。昨日も恵山でゴツコ祭りが開かれ、大盛況のようでした。帰ってきたらお腹いっぱい食べさせてやると思っています。
(七飯町 清水 悦子さん 77歳)
2月は系統機関の各種会議が続きました。貯蓄推進委員会、購販推進委員会等でした。朝9時から夕方5時まで休憩時間も惜しみながらの会議でした。終わって夕食をとりながらの交流会は各組合の代表の喉と踊りで、一年に一回の顔合わせは、また楽しみでした。今は二年に一度で一日とお聞きしております。実りある大会にしてください。
(島牧村 泉谷 泰三さん 86歳)
「海ひと夢インタビュー」の内容が興味深かったです。
(稚内市 石井 麗子さん 35歳)

寒い日が続いています。にしんの漁も昨年と違い、群来が早く来ることを願っています。
(小樽市 宮古 登美子さん)
青海原に遠く浮かぶ白雪の利尻富士は一幅の絵です。春が近いことを感じました。
(苫前町 鎌田 純子さん 75歳)
にしん漁が今のところパツとしていません。今後の漁が好転することを祈念します。
(小樽市 宮古 知行さん)

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまるおたより箱



協同の力でコスト削減

系統ブランド資材紹介コーナー

良質で安い資材を浜に提供することを目的に、ぎょれんが自ら企画・開発をしている資材が「系統ブランド資材」です。

なみまるくんでは、皆様に「系統ブランド資材」の個々の商品特長をもっと知っていただくため、毎月1つの商品を詳しくご紹介しています。ぜひ、資材購入の検討に、お役立てください。

今月はタイ産刺網「タイナイロン網」をご紹介します！

おすすめポイント Gノット(2回転半結節)

3回転(トリプル)結節より結節が小さく
2回転(ダブル)結節より目ズレしにくい



タイナイロン網は昭和40年代に輸入販売を開始。漁業者の皆様の意見をもとに数々の改良を重ねてきた、言わば「系統ブランド資材」の先駆的商品です！

系統ブランドだからこそそのコスト削減！

以下のご要望にも**無料**に対応いたします

- 上下の縁を太くできます
- 超柔軟仕上げが可能です

カラーバリエーションも豊富です！

実際にご使用いただいた感想をお聞きました！



石狩湾漁協 理事
秋 芳男さん

以前は国産網を利用していましたが、ここ5年くらいで、にしん網は完全にタイナイロン網に切り替えました。

タイナイロン網の大きなメリットは、価格が安いことです。近年トドによる被害が大きく、網は1シーズン持たないことがほとんどです。ひどいときには1回網入れただけでもダメになってしまいますので、価格が安く品質が良い網を提供してくれるのは非常に助かります。私の実感としては、タイナイロン網の価格は国産に比べて3割程度安く、新品であれば漁獲量も国産網とほとんど変わりません。

大量に購入する網は、少しの価格差も大きく響いてきます。今後も良い資材を良い価格で提供し続けてくれるよう、がんばってほしいと思います。

ご注文・お問い合わせは、漁協購買部へおねがいたします。

海難を 防いでまもる 家族の笑顔

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

さっぱりとした特製だれが秋鮭のザンギにぴったり

秋あじのザンギ ポン酢しょうゆがけ

浜のおかあさん

レシピ



今回は秋鮭を使った「秋あじのザンギ ポン酢しょうゆがけ」をご紹介します。カラッとおいしい秋鮭のザンギを作るコツは、「二度揚げ」。表面がきれいなキツネ色に変わった瞬間が最高の食べごろのサインです。にんにくを効かせた秋鮭と、さっぱりした特製だれの組み合わせが相性ぴったり。おいしいので食べ過ぎ要注意の絶品ザンギです！

材料 (4人分)

- | | |
|----------------|--------------|
| ・秋鮭(切り身)・・・4切れ | ・酢・・・大さじ2 |
| ・片栗粉・・・1カップ | ・しょうゆ・・・小さじ2 |
| ・揚げ油・・・適量 | ・レモン汁・・・小さじ2 |
| ・大根・・・150g | ・白ごま・・・小さじ1 |
| ・しょうゆ・・・大さじ1 | |
| ・酒・・・大さじ1 | |
| ・ごま油・・・小さじ1 | |
| ④ 塩こしょう・・・小さじ1 | |
| ・しょうが・・・1/4個 | |
| ・にんにく・・・1片 | |

作り方

- ① 秋鮭を一口大に切る。
- ② にんにくとしょうがをすりおろし、Aを全て混ぜ入れる。その中に①の秋鮭を入れ、15～20分漬けておく。
- ③ 大根をおろして、水気を切る。また、Bを混ぜておく。
- ④ ②の秋鮭に片栗粉をまぶして、160～170℃の油で中に火が通るまで揚げ、一度取り出す。表面がカリッとキツネ色になるまでもう一度揚げる。
- ⑤ 皿に盛り付け、上に大根おろしを添えて、Bをかければ出来上がり。



釧路市東部漁協
飯塚 サツさん